



上村松園「紅葉狩」部分

古川美術館コレクション展

美人画の系譜

—麗しき女性のすがた

古今東西を巡る、多様な美に迫る。

2026年8月21日(金) ▶ 9月20日(日)

この度、古川美術館では、古川美術館コレクション展「美人画の系譜—麗しき女性のすがた」を開催いたします。古来、人の姿はさまざまに表現され、とりわけ女性像には時代ごとの理想や美意識が託されてきました。本展では“麗しき女性のすがた”を主題に、古川美術館の所蔵する美人画を通して、近代におけるその系譜と展開をご紹介します。

明治以降、京都の上村松園と東京の鏑木清方を中心に発展した美人画の流れをたどり、東西の表現の違いや、多彩な女性像の魅力をご覧ください。

本展につきまして、ぜひ貴媒体にてご取材・ご紹介賜りますようお願い申し上げます。

《お問い合わせ》

公益財団法人 古川知足会 古川美術館・分館 爲三郎記念館

〒464-0066 名古屋市千種区池下町2-50 / TEL 052-763-1991 / FAX 052-763-1994

担当学芸員 山内綾子 (mail: a_yamauchi@furukawa-museum.or.jp)

URL: <http://www.furukawa-museum.or.jp/>

テーマ1 東西画壇の競演

明治以降の近代日本画界では、京都画壇と東京画壇がそれぞれ雄を競っており、美人画界でも《西の松園》《東の清方》が人気を二分していました。ここでは歴史的な「美人画」というジャンルを確立した上村松園と鏑木清方を中心にその系譜に連なる画家の作品を、西と東に分けて紹介します。同じ美人画でも西と東では、その表現の仕方が異なります。その違いをご自身の眼でお確かめ下さい。

【西 — 京都画壇の系譜 —】

松園を筆頭とする京都画壇の美人画は、京都風ともいえる“はんなり”とした風情をたたえています。“はんなり”とは、落ち着きの中にやわらかな華やぎを感じさせる、上品な美しさを表す言葉です。京都画壇の画家たちの作品には、派手ではないが心を惹きつける美しさがあります。

- 上村松園「紅葉狩」軸装
- 伊藤小坡「夏の朝」軸装
- 伊藤小坡「紅葉狩り」軸装
- 広田多津「春装」軸装 他



上村松園
「紅葉狩」

【東 — 東京画壇の系譜 —】

鏑木清方を中心とする東京画壇の美人画は、江戸の“粋”を感じさせる作風です。“粋”とは、装いすぎず洗練された中に、さりげない美しさや心意気を感じさせる美意識を表す言葉です。

- 鏑木清方「夏の日盛り」額
- 鏑木清方「夕立」軸装
- 鏑木清方「朶三髻の女」額
- 伊東深水「香衣」額装
- 伊東深水「柳美人の図」額装
- 寺島紫明「朝髪」1967年 額装
- 寺島紫明「初夏」1964年 額装 他



鏑木清方「夕立」
© Kiyoo Nemoto 2026/JAA2600091

テーマ2 舞妓の四季

四季のうつろいは、人々の暮らしや装いの中にも繊細に映し出されます。なかでも舞妓の姿は、季節ごとの風情をまとい、着物の文様や簪（かんざし）といった細やかな意匠の中にも、春夏秋冬の趣がさりげなく表され、舞妓ならではの美を私達に伝えています。本章では、舞妓を主題とした作品を通して、四季の移ろいとともに変化する美のかたちをご紹介します。

テーマ3 昔日の美

「昔日」とは、遠い過去の時代を指す言葉です。美の姿は、時代や文化の中で移ろいながら、多様にかたちづくられてきました。本章では、唐代の楊貴妃に象徴されるような、ふくよかで華やかな中国の美と、日本の小野小町にみられるような繊細で内省的な美を、さらに巴御前のように、強さや物語性を帯びた存在にも美が見出されてきました。これらの作品を通して、装いやしぐさ、そして生き方そのものに表れる、中国・日本それぞれの多様な美のかたちをご覧ください。

【中国】

- 白清斎「美人画」軸装
- 河田小龍「貴妃長恨図」軸装
- 真野満「淡粧（美人）」額装
- 真野満「双珠」額装
- 岩田正己「長安の春」額装

【日本】

- 中村大三郎「小野小町」
- 神谷光径「佐加野の秋」
- 大矢米年「巴御前」



河田小龍「貴妃長恨図」



白清斎「美人画」

テーマ4 百花繚乱へ

本章では、日本画における多様な美人表現をご紹介します。装いの意匠やしぐさ、人物が置かれる場面を通して、美人画は時代の美意識や暮らしの感覚を映し出してきました。

一人の姿に凝縮された美から、人々の営みの中に広がる情景まで、多彩な表現が響き合います。百花繚乱の世界をお楽しみください。

- ◆森田曠平「立美人」
- ◆不詳「四芸七美人」
- ◆小早川清「夏の夕」軸装
- ◆横尾芳月「立姿」
- ◆大林千萬樹「日本橋美人図」
- ◆立石晴美「鶯」
- ◆小川雨虹「舞扇」
- ◆勝田哲「白い手袋」
- ◆梶原緋佐子
- ◆松田文子「夏」



松田文子「夏」



不詳「四芸七美人」



大林千萬樹
「日本橋美人図」

会期中のイベント

- ①学芸員によるギャラリートーク 予約不要
日 時：8月23日（日）／ 9月10日（木）
会 場：美術館展示室 14：00～
参加費：無料 ※別途入館券必要

- ②美術講座「美人画の系譜—その歴史と展開」 要予約
日 時：9月18日（金）
講 師：山内綾子（担当学芸員）
会 場：3階特設展示室 13：30～
参加費：無料 ※別途入館券必要

- ③伝統が新しい居場所を見つけた「日本で生まれるウクライナの工芸」
避難民の方々が日本で制作した刺繍や編み物などの工芸品を展示します。
会期：8月21日（金）～9月6日（日）
会場：3階 特設展示室

広報画像



gazou①



gazou②



gazou③

- gazou①：作品クレジット 上村松園「紅葉狩」
gazou②：作品クレジット 大林千萬樹「日本橋美人図」
gazou③：作品クレジット 河田小龍「貴妃長恨図」

《ご希望の画像番号を下記までお知らせください》

広報担当：（展覧会担当）学芸課 山内綾子

mail：a_yamauchi@furukawa-museum.or.jp
Tel052-763-1991（代表）／Fax052-763-1994